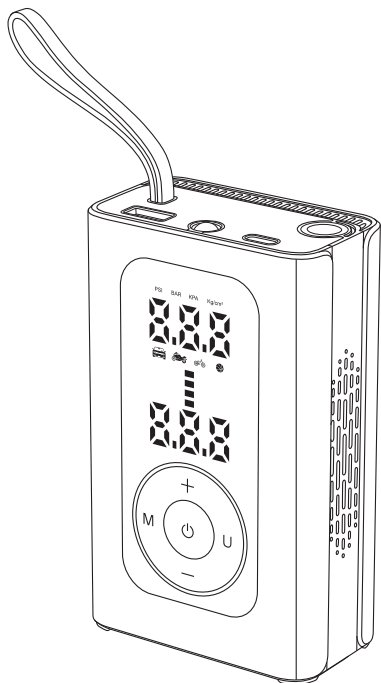


電動エアコンプレッサー K-AIR05

【取扱説明書】

この度はお買い上げいただき誠にありがとうございます。
正しくご使用いただくために必ず取扱説明書をよくお読みください。
またお読みになった後も本説明書は大切に保管してください。



●アダプターについて

変換アダプターを使用すればボールや浮き輪など色々な製品に適用します。

- ① 自転車用
- ② ボール用
- ③ 浮き輪用
- ④ ゴムボート用



■安全上のご注意

ご使用の前に必ず、この「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使い下さい。

- ⊘ 禁止 してはいけない行為を表しています。
- ❗ 必須 必ずしていただきたい行為を表しています。

⚠ 危険 取扱いを誤った時に死亡もしくは重傷、重大な事故を負うおそれがある内容です。

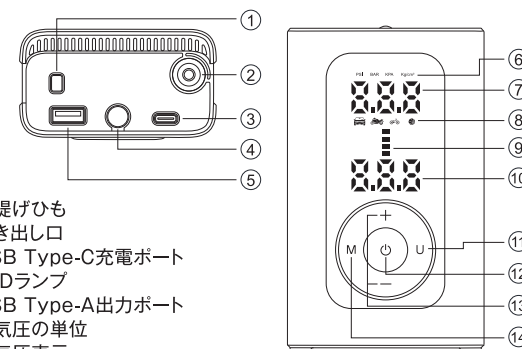
- ⊘ 本製品は日本国内専用に製造、販売されています。日本国外では使用できません。
- ⊘ 本機を火中に入れたり加熱したりしないでください。液漏れ、異常発熱、破裂の原因となります。
- ⊘ 本機を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。ケースの破損、液漏れ、異常発熱、破裂の原因となります。
- ⊘ 本機の分解・改造はしないでください。感電、液漏れ、異常発熱、破裂の原因となります。
- ⊘ 本機の端子部を金属などで接触させないでください。感電、液漏れ、異常発熱、破裂の原因となります。
- ⊘ ケースなど破損した本機は使用しないでください。液漏れ、異常発熱、破裂の原因となります。
- ⊘ 専用バッテリーパックですので、他の機種や他の用途には使用しないでください。液漏れ、異常発熱、破裂の原因となります。
- ❗ 使用前に本機やホース、付属品などに損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は使用を中止してください。
- ⊘ 本製品を子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所で使用しないでください。
- ❗ 空気の入れすぎに注意してください。使用中は絶対に本製品から離れないでください。対象物が破裂する危険があります。
- ❗ 充電ケーブルを抜くときは、コードを持たずに必ず先端のプラグを持って抜いてください。感電、ショート、発火の原因となります。
- ❗ 充電ケーブルにゴミや土、油が付着しないよう注意してください。感電や火災のおそれがあります。
- ⊘ 本製品は家庭用ですので、業務用として使用しないでください。重大な事故につながる原因となります。
- ⊘ 本製品を車中や直射日光が当たる場所など50度以上の高温になる場所で保管しないでください。動作異常、異常発熱、火災の原因となります。

⚠ 注意 取扱いを誤った時にケガや製品の故障等が起きるおそれがある内容です。

- ⊘ タイヤ、ボール、小さな浮き輪など本製品が対象とするもの以外に空気を入れないでください。対象物が破損して、けがの原因となります。
- ❗ 取扱いや作業の方法、周りに注意し作業をおこなってください。事故やけがのおそれがあります。

- ❗ 使用寿命を最大限に保つため、8～10分連続動作するごとに約15分使用を止め本体を冷却してください。
- ❗ 砂の上や汚れた場所で使用しないでください。異物が製品内部に入ると故障の原因になります。
- ❗ 空気を入れるときは、安定した水平な平面に設置してください。また、ホースに損傷を与える鋭利なものや薬品・油などの近くで使用しないでください。
- ⊘ 本製品の使用の際は、必ず適正空気圧を確認してから使用してください。
- ⊘ ライトの光を直接目に当てないでください。目を傷める原因となります。
- ❗ 空気を入れるときは、エアチャック、アダプター、バルブを確実に接続してください。ホースの折れやからまりなど、確実に接続されていないと、ホース、エアチャック、アダプター、対象物が破損して、けがの原因となります。
- ❗ 空気を入れた後にホースを取りはずすときは、バルブとホース、エアチャックをしっかり保持して、ゆっくりと行ってください。急に取りはずすと排気風によりエアチャック、アダプター、または対象物が跳ねて、けがの原因となります。
- ❗ 本製品を持ち運ぶときは電源を切り、本体を持ってください。ホースを持ったり、引っ張ったりしないでください。製品の破損やけがの原因となります。
- ❗ エアチャックのロックレバーをたたむときは、エアチャックとロックレバーの間に指を挟まないように注意してください。
- ❗ 空気を入れた後は調整済みの信頼できる計測機器で空気圧を測定してください。本製品の圧力計の値は参考値としてください。
- ⊘ 本製品をぬれた手で使用しないでください。
- ⊘ 本製品はバスやトラックなどの大型車には対応していません。大型車には使用しないでください。

■本体各部名称



- ① 手揚げひも
- ② 吹き出し口
- ③ USB Type-C充電ポート
- ④ LEDランプ
- ⑤ USB Type-A出力ポート
- ⑥ 空気圧の単位
- ⑦ 空気圧表示
- ⑧ モード表示
- ⑨ バッテリー残量表示
- ⑩ 設定圧力
- ⑪ 空気圧単位・ライトボタン
- ⑫ 電源ボタン
- ⑬ 圧力値ボタン +/−
- ⑭ モード切替/空気圧の設定

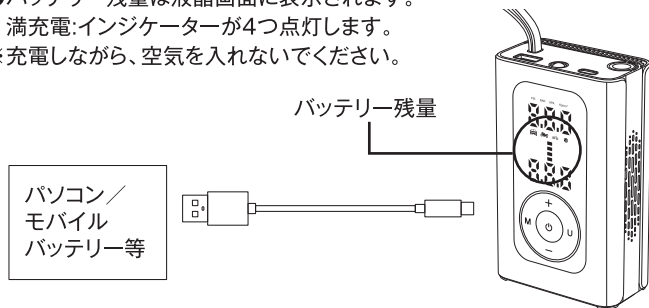
■バッテリー充電方法

本体の電源スイッチをOFFにした状態で、付属のUSB充電ケーブルのType-Cコネクタを本体のUSB Type-Cポートに接続し、Type-Aコネクタをパソコンやモバイルバッテリー等に接続すると充電が始まります。

●バッテリー残量は液晶画面に表示されます。

満充電:インジケータが4つ点灯します。

※充電しながら、空気を入れしないでください。



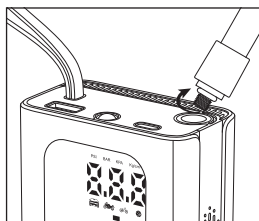
■操作ボタンについて

	電源/スタートボタン	3秒くらい長押し: 電源ON/OFF 短押し: 空気注入開始
	空気圧の数値を調整	長押し: 速く変更 短押し: 1レベルずつ変更
	長押しごとにライトの点灯パターンを変更	1回: ライト点灯 2回: 緊急SOS点灯
	モード切替	短押し: タイヤモード切替 長押し: 空気圧の設定

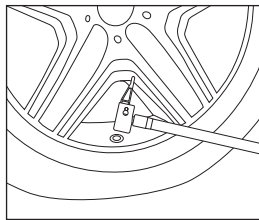
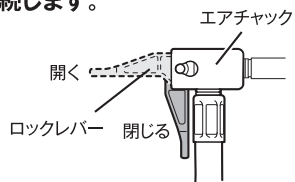
■使用方法

①拭き出し口にエアホースを反時計回りに取り付けます。

※空気を注入する対象物に合わせて別途アダプターを装着します。
※やけどしないため、使用后10分ほどで、取り外してください。

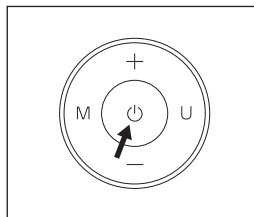


②エアチャックをタイヤのバルブに接続します。



③電源ボタンを長押しして本機を起動します。

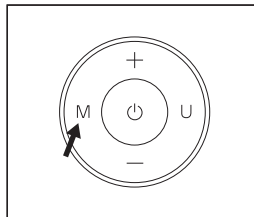
※2分ほど使用しないと、自動的に電源オフにします。



④“M”ボタンを短押しして適当なモードを選択します。

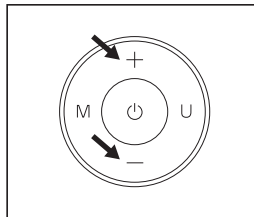
(自動車/バイク/自転車/ボール)

“M”ボタンを2秒ほど長押しして、空気圧の設定をします。



⑤+/-ボタンを短押しして、空気圧数値を調整します。

+/-ボタンを長押しすると、速く変更ができます。

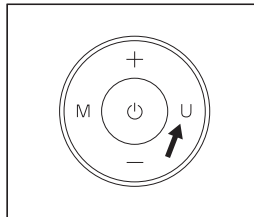


⑥“U”ボタンを短押し、空気圧単位を切り替えます。

単位換算:

1bar=14.5PSI, 1bar=100kpa,
1bar=1.02kg/cm²

※“U”ボタンを長押しで、LEDライトを点灯/消灯します。



⑦電源ボタンを短押しして、空気入れを開始/停止します。

⚠ 注意

- 空気注入後はエアバルブの温度が高くなる場合があります。エアノズルを外す時はやけどにご注意ください。
- 本品の使用温度範囲は-10℃~45℃です。範囲以外の環境で使用の場合、バッテリー寿命が短くなる可能性があります。
- 液晶保画面に“FO”表示された場合、本体過熱保護が起動されたので、暫く使用しないでください。“FO”消灯すれば、再度使用ができます。

■適正空気圧について

●自動車の場合

運転席のドア付近や車両の取扱説明書に記載しています。

タイヤ空気圧 (kPa/kg/cm ²)	
タイヤサイズ	前・後輪
195/65R15 91S	230 2.3
応急用タイヤ	
T135/80D16 101M	420 4.2
28700	NM

●その他

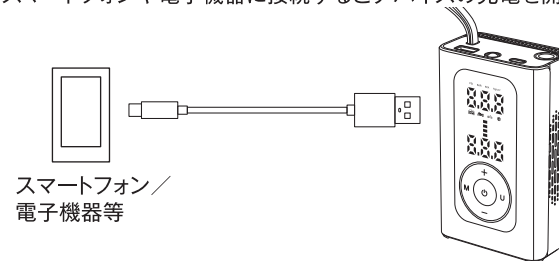
自転車	ボール
12/14/16インチタイヤ 30-50 psi	バスケットボール 7-9 psi
20/22/24インチタイヤ 40-50 psi	サッカーボール 8-16 psi
26/27.5/29インチタイヤ 45-65 psi	バレーボール 4.5 psi
ロードバイク	ラグビーボール 12-14 psi
クリンチャータイヤ700c 100-130 psi	
チューブラータイヤ700c 120-145 psi	
オートバイ	1.8-2.8 bar

※あくまでも目安になります。一般的な適正空気圧はタイヤの周りに記載、ボールの空気穴の周りに印字してあるか、メーカーに確認してください。

●浮き輪の場合は、浮き輪の圧力が20kPa未満のため、圧力計に正確な値が表示されません。圧力計は使用せずに、浮き輪の状態を確認しながら空気を入れてください。

■他のデバイスへ給電する

本体の電源スイッチをONにした状態で、付属のUSB充電ケーブルのType-Aコネクタを本体のUSB Type-Aポートに接続し、Type-Cコネクタをスマートフォンや電子機器に接続するとデバイスの充電を開始します。



■トラブルシューティング

注入速度が遅い 空気注入されない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の充電状態を確認する ●エアチャックの気密性を確認する ●エアチャックとタイヤがしっかり接続されているか確認する ●タイヤから空気が漏れていないか確認する
空気圧が異常 0レベルに戻る	異常な操作が原因、電源をOFFにして再起動し、マシンエラーを解決してください。